



芙蓉 (ふよう)

Power Alliance Tax Accountant Office
 パワーアライアンス税理士事務所

News

編集 発行人

パワーアライアンス税理士事務所
 税理士 若杉 治
 〒151-0073
 東京都渋谷区笹塚3-37-1
 第1花井ビル2F
 TEL 03 (5365) 4744(代)
 FAX 03 (5365) 4745
 E-mail info@wakasugi.zei-mu.net

7月

(文月) JULY

18日・海の日

日	月	火	水	木	金	土
.	.	.	.	.	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31	.	.	.	.	.	.

ワンポイント 消費税専門官の増設

国税庁では、消費税の虚偽の書類を作成し、架空の課税仕入れを計上する等による不正還付への対応に特化した「消費税専門官」を昨年から主要税務署に配置しています。今年7月からは、東京・大阪・名古屋国税局などの内部にも新設するほか、配置する税務署数の拡大や増員により体制強化を図っています。

7月の税務と労務

- 国 税／6月分源泉所得税の納付 7月11日
- 国 税／納期の特例を受けた源泉所得税（1月～6月分）の納付 7月11日
- 国 税／所得税予定納税額の減額承認申請 7月15日
- 国 税／所得税予定納税額第1期分の納付 8月1日
- 国 税／5月決算法人の確定申告（法人税・消費税等）、11月決算法人の中間申告 8月1日
- 国 税／8月、11月、2月決算法人の消費税の中間申告（年3回の場合） 8月1日
- 地方税／固定資産税（都市計画税）第2期分の納付 市町村の条例で定める日
- 労 務／社会保険の報酬月額算定基礎届 7月11日
- 労 務／労働保険料（概算・確定）申告書の提出（全期・1期分）の納付 7月11日
- 労 務／障害者・高齢者雇用状況報告 7月15日
- 労 務／労働者死傷病報告（4月～6月分） 8月1日

SEO



Search Engine Optimization



SEOとは

インターネットを通じて集客するときに、「SEO」という言葉を耳にします。なかには、検索順位を上げるためにはSEOを行う会社に多額の費用を支払う必要があると考えている方もいらっしゃるかもしれません。

SEOとは、検索エンジンの最適化と訳され、マーケティング手法の一つです。検索順位を上げることを目的とするのではなく、訪問者にとって使いやすいサイトにしていくことがSEOの本質です。

そもそも、検索エンジンを運営している会社は、検索結果自体が商品なので、意図的に検索順位を操作できないように多額のコストをかけています。例えば「Google」では、ページのコンテンツの新しさや他のサイトからリンクをされている数など、200以上の項目からアルゴリズムにより順位を決めています。この内容は公開されていないので、何か対策を講じても簡単に順位は上がりません。

検索行動の現状

日常生活で何かを検索する場合、以前はパソコンに向かって行っていたと思います。もちろん今でもパソコンを使用した検索も行われていますが、近年のスマートフォンの急速な普及によ

り、自宅やオフィスだけではなく通勤時や旅先などちょっとした隙間時間に検索をする人も増えています。

このような検索行動の変化に伴って、「Google」では2015年からスマートフォンにとって使いやすい・読みやすいページが検索の上位になるように更新をしました。また2016年には、スマホページがあるサイトはスマホページをランキングの対象とするように変更されました。それまではスマートフォンで検索してもデスクトップ版のページがランキングの対象となっていましたので、現在の検索行動に即した変更といえるでしょう。

キーワードのチェック

SEO対策の最も重要な要素に「キーワード」があります。しかし今では、単にワードではなく、ユーザーの検索意図を捉えることが重要だと言われています。例えば「プリン」という言葉に対して「プリン_レシピ」や「プリン_テイクアウト」といったキーワードを派生語といいます。プリン_レシピであればプリンの作り方について、プリン_テイクアウトであればプリンの持ち帰りができるお店について検索していると推定できます。

どのようなキーワードが多く検索をされているのか

については、キーワードツールを使って調べることができます。まず、ターゲットとする訪問者が持っている検索ニーズやどのようなキーワードで検索するかを想定し、それを基に考えられる限りの言葉をリストアップします。そしてキーワードツールを使ってリストアップした言葉の人気度をチェックします。

キーワード選定の注意点

同じ意味を持つ言葉でも、検索数はかなり変わることがあります。例えば「イタリアン(13万5,000)」と「イタリア料理(2万2,200)」を比べると、イタリアンの方の人气が高いことがわかります。

エリアを含んだキーワードについても注意が必要です。最近ではスマートフォンで検索をする人が増えており、位置情報に基づいた検索が行われているため、必ずしもエリア名を含める必要がなくなっています。

業種によってもキーワードの傾向に違いがあります。例えばグルメサイトでは、路線名ではほとんど検索をされていません。一方、不動産の検索では、路線名による検索が行われる場合が多い傾向にあります。これは住居を検索する際は、勤務地を考慮して路線で探す人が多いことが理由に挙げられます。

筆界と所有権界 —————

土地には、「筆界」と「所有権界」という2つの境界があります。

筆界とは、その土地が法務局に初めて登記された時にその土地の範囲を区画するものとして定められた境界です。その後、分筆や合筆によって変更されていない限り筆界が変わることはありません。また土地の所有者同士の合意によって変更することもできません。

所有権界とは、土地の所有者の権利が及ぶ範囲を画する境界です。普通は筆界と所有権界は一致しますが、一方が時効によって所有権を取得したりした場合には、一致しません。また土地の所有者間で所有権界を自由に移動させることもできます。例えば、土地の一部が変形しているため使いつらい場合に、隣の所有者と相談をして区切りを変更し、新たに生け垣や塀を作ったりすると、筆界と所有権界は一致しません。

境界を確定する手続き —

所有権界を変更したままの状態が長く続くと、後から設置した生け垣などのラインが筆界であると勘違いをすることもあります。土地には筆界に基づく境界を表示する境界標が地面に打ち込まれていますが、工事のときに引き抜かれたり、ずれてしまったりすることもあります。

境界がはっきりしないと、建て替えや生け垣などの作り変え、土地を売却すると

筆界特定制度



きに困ることがあります。筆界を確定する手続きには、裁判と筆界特定制度があります。裁判は、原告と被告の主張にとらわれることなく、裁判所が筆界を確定します。筆界が確定すると、その後訴訟の当事者は境界についての争いを起こすことができません。

筆界特定制度は、平成18年に始まった制度です。それまでは、筆界を確定するためには裁判をするしかありませんでした。ただ判決が出るまでに長い時間を要したり、隣人との人間関係が悪化したりするケースも多くありました。そのため、訴訟を躊躇する人も多かったようです。実際に筆界特定制度が始まったことで、筆界を確定する訴訟件数は約800件から400件に半減しましたが、筆界特定制度の利用者は毎年2,500件程度あり、多くの人が利用しているようです。

なお、所有権界を確定する手続きには、裁判とADR(裁判外紛争解決手続)の2つがあります。

筆界特定制度の手続き —

筆界特定を行う場合、その土地の所在地を管轄する法務局や地方法務局の筆界特定登記官に申請をします。申請ができる人は、その土地の所有者として登記されている人、またはその相続人などです。

筆界特定の申請がされると、土地家屋調査士や弁護士などの民間の専門家から筆界調査委員が任命され、土地の实地調査や測量などの調査が行われます。筆界調査委員が調査に基づいて筆界に関する意見を筆界特定登記官に提出すると、筆界特定登記官はその意見を踏まえて、様々な事情を考慮して筆界特定を行います。なお、申請人や関係人は、筆界特定が行われる前であれば、筆界特定登記官に対して、筆界に関する意見を述べたり、資料を提出したりすることができます。

筆界特定制度は、裁判に比べると費用を抑えることができることや判断が早いことがメリットになります。また、民間の専門家の意見を踏まえた判断なので、その後筆界確定訴訟に移っても、筆界特定の結果が尊重される傾向にあります。

ただ、隣人との間で境界の紛争にならない方が、より良いことです。土地の境界標が壊れたり紛失したりしていないか確認することが重要です。また、隣人との良いコミュニケーションを取っておくことが、紛争を招かない最大の防御策と言えるでしょう。

サステナブルツーリズム

第2次世界大戦の後の経済発展によって、富裕層に限られていた観光旅行が一般に広まるようになりました。日本でも、1970年の大阪万博を契機に、旅行が一気に大衆化されました。それによって、観光地において環境汚染や自然破壊が進むようになりました。

そこで、サステナブルツーリズムという、観光地の本来の姿を持続的に保つことができるように、観光地の開発やサービスの在り方を見定め旅行の設定を行う考え方が生まれました。

国連は、サステナブルツーリズムに関する基準を設けています。この基準には、観光地の管理組織の設置やユニバーサルデザイン、野生生物の保護など40項目あります。これらの基準をすべて満たす必要はありませんが、これらの基準に沿った取り組みをすることで、「サステナブルツー

リズム国際認証」を受けることができます。

サステナブルツーリズムを成功させるポイントの一つに、明確な産業政策があります。産業政策がないと、地域の飲食店や宿泊施設などにリピーターが増えず、かえって閉店に追い込まれる結果につながりかねません。明確な産業政策が立てられた上で観光地化が進めば、経済がまわり地域住民の生活が潤うことにつながります。

もう一つのポイントは、旅行者のマナーの徹底です。ツーリスト管理は、サステナブルツーリズム国際認証の基準にも挙げられており、重要なポイントと言えるでしょう。

観光地化することでたくさんの旅行者が訪れて、ゴミの放置やポイ捨てが増えては、観光地の本来の姿を持続的に保つことはできません。観光地の地域住民の生活環境や自然を保護するために、入境制限や観光地のタクシーを電気自動車に見直すといった取り組みも考えられます。

無形文化財

演劇や工芸技術など、歴史や芸術的価値の高いものを、無形文化財といいます。国は、無形文化財のうち重要なものを「重要無形文化財」に指定し、その「わざ」を高度に体现している人を保持者や保持団体として認定し、伝統的な「わざ」の承継を図っています。重要無形文化財を保持するために、保持者に対して特別助成金を交付しています。

また保持団体には、経費の一部を助成することや、国立劇場では芸能に関する後継者養成を行っています。2003年にはユネスコ総会で、無形文化遺産の保護に関する条約が採択され、日本は2004年にこの条約を締結しました。この条約では、芸能や伝統工芸技術などの無形文化遺産について、締約国が自国内で目録を作成し、保護措置をとることなどが定められています。

内視鏡

7月14日は内視鏡の日です。これは内視鏡医学のさらなる発展と普及を目的に、2006年に制定されました。内視鏡は、食道や胃・腸などの消化管の検査や治療に使われています。

内視鏡の一種である胃カメラは、ドイツで開発が試みられましたが、実用化には至りませんでした。日本でも胃カメラの開発が行われ、1950年には世界で初めて胃内撮影に成功しました。

内視鏡検査というと、「つらそう」という印象を持つ人も多いですが、内視鏡技術や検査技術が進んでおり、挿入時の吐き気などをほとんど感じることなく検査を受けることができるようになっていきます。

不治の病とされていたガンも、いまでは早期に発見して治療をすれば治る可能性が高くなっています。内視鏡は、早期がんを発見するために欠かせない医療機器になっています。